

「東日本大震災」災害支援だより

準備号 2011年4月1日発行

特定非営利活動法人全国移動サービスネットワーク内
全国移動ネット災害支援の会だより編集室

全国移動ネット災害支援の会 〒156-0055 東京都世田谷区船橋1-1-2 山崎ビル204号

◆問い合わせ先
全国移動ネット
災害支援の会
Tel.03-3706-0626
E-Mail
info@zenkoku
-ido.net

3月11日（金）に発生した「東日本大震災」において、尊い命を落とされた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

現在も被災地では被災された皆様をはじめとし、各現場の方々が一日も早いまちの復興を願って休みなく動いていらっしゃいます。また、他都道府県から向かった支援者の個人・団体の垣根なく、想いをひとつにした活動を見聞きすることが日常となりました。

そんななか、私たち移動サービスに関わる者たちの現地での被災状況や支援活動、また災害地を離れた各都道府県の避難場所での対応状況の情報をお伝えさせていただくことで、被災地の皆様にわずかでも“光”をお届けしたく、「支援だより」を発行する運びとなりました。数ページの紙面が情報共有の場としてお役にたつことができれば幸いです。

同時に全国の移動サービス団体の皆様に、現在、全国移動ネットの関係者が行っている支援活動を知っていたき、合わせて救援活動の協力をお願いする所存です。どうぞよろしく願い申し上げます。

●全国移動ネットの支援活動

現在、全国移動ネットの理事（団体）や会員団体を中心になって、被災地域や避難者への支援活動を行っています。

◇理事が ⇒ 被災地域の理事や会員団体へ

被災地域の情報収集窓口や支援拠点になっている、宮城（移動サービスネットワークみやぎ）や茨城（ウィラブ北茨城）の理事・会員に、ガソリンや灯油・食料・生活物資を届けました。被災地域の理事・会員団体さんを通じ、被災された方にも食料や物資を配布しています。

◇理事や会員団体が ⇒ 被災された方々へ

秋田（秋田ボランティア協会）、山形（やまがた福祉移動サービスネットワーク）、茨城（ウィラブ北茨城）では、被災した高齢者や障がい者、難病患者さんなどの医療機関への搬送、避難場所としての受け入れ、災害ボランティアのコーディネートなどを行っています。

今後は、被災地域はもちろん、首都圏などに避難している移動困難な方の支援にも、車両や運転者の派遣といったかたちで要請に応じていく予定です。



全国移動ネット災害支援の会は、全国の移動サービス団体の皆様、市民の皆様とともに 被災地支援に全力で取り組みます。

現地から～被災状況報告

震災直後の被災地から続々と入ってきた、たくさん
の声。「準備号」では、メールでいただいた情報の中
からお2人の声をお伝えさせていただきます。

【from仙台】

(移動サービスネットワークみやぎ／菅原ふじ子)

●2011年3月18日 21:44

今日やっと通信回線が復旧し、理事メールを見るこ
とができるようになりました。理事の皆様の温かいお
心遣いに感謝を申し上げます。

山本さん、遠路はるばる物心両面でのご支援をいた
だきまして、本当にありがとうございました。

*

いただいた支援物資は、ガソリンを入れた軽トラッ
クで、早速下記の所へ届けてきました。

・盲導犬と暮らしている彼女へ

パンとヨーグルト、とても喜んでいただきました。
サバは味噌煮、ベーコンは野菜炒めにして、水容器に
水を入れて届けました。

・都市ガス・水道の供給がまだの友人知人へ

携帯ボンベ、水容器に水を入れて、手に入りにくい
卵やウインナー、肉類や魚類も分け合いました。

・避難所へ支援物資を届けている知人へ

米、灯油、軍手やカイロ、トイレットペーパー、マ
スク、乾電池、ティッシュ、毛布、枕、カセットコン
ロと携帯ボンベ等々、たくさんの心温まる物資の数々、
ありがとうございました。

*

事務所がある「みやぎ NPO プラザ」（旧宮城県図書
館）の窓ガラスはこなごなに割れたそうですが、ブー
スで仕切られた事務所は大丈夫だそうです。

移動サービスを実施している団体は、ガソリン不足、
今は最小限の提供に留めているということです。

ネットの仲間である石巻市在住の方の安否確認が
とれていませんでしたが、知人から無事との連絡をい
ただきホッとしています。が、山元町に住む仲間は連
絡不能です。携帯にメールし、送信済みですが返信が
ありません。

石巻市も山元町も海に近く、水に流された家がたく
さんある地域です。テレビ等で惨状は報じられていま

すが、知り合いから話を聞くと、よりリアルに感じら
れて胸が痛みます。私自身も今後どんな支援ができる
のか。とりあえずは近場で動いています。県社協と
も連絡をとり、できることをしたいと考えています。

●2011年3月23日 12:05

高松さん、被災者への支援、お疲れ様です！！

避難している人たちの支援は長期化しますので、無
理はしないでお互いできることから支援しましょう。

地元宮城の惨状は、テレビなどから流れる映像以上
に悲惨な有様であったと、実際現場に行った知人から
聞きました。私の家は、津波等で町が破壊された沿岸
部からはほど遠く、その現場に行くことも何かをして
あげることもできずにいますが、可能な限り、ライフ
ラインが滞っている知人や友人たちを回って、食料や
水を届けたいと思います。

山元町にある移動ネットみやぎの会員であり理事
になっていただいている「ささえ愛山元」の安否が気
になっていたところですが、今日近隣の NPO や山元町
社協に電話してわかったのは、

- ・建物は津波に流されたのではないが
 - ・理事長は約 14 時間水に浸かっていたが、脱出して
無事。最初は避難所にいたが、今は隣町に住んでいる
息子さんのところにいる
 - ・スタッフの 1 人は遺体で見つかり死亡が確認された
 - ・移動ネットみやぎの理事の 1 人は依然不明
- ……ということです。行方がわからない人たちがたく
さんいて、胸が詰まります。

*

●2011年3月25日 21:29

柿久保さん、長谷川さん、山本さん、義援金、ガソ
リンと灯油（各ドラム缶 1 本）、下着等諸々の支援物
資、本当にありがとうございました。おかげさまでガ
ソリンは必要な当ネットの仲間たちに行き渡り、活動
をしております。ありがとうございました。

今日、山本さんが 2 度目の来仙でした。今回は山本
さんの大学時代の友達と 2 人で、たくさんの支援物資
を届けてくださいました。

塩釜にいる目の不自由な方へ灯油やヨーグルト、牛
乳などの食糧を届け、仙台市の長町にある「CIL たす
けっと・あくせすふらり」の事務所に向かいました。
途中、多賀城市の国道脇には瓦礫の山とつぶれた車が

たくさん積み重なり、一部信号機も消えた状態でした。

「GIL たすけっと」では電気、水、ガス（プロパン）が使える事務所内には、仲間の皆さんが集まり和気藹々と元気に過ごしておりました。

また、全国の障害者団体の協力で調達した物資を、法人の利用者だけでなく、チラシなどで広報し一般の障がい者向けに欲しい物資を電話やFAXで受け付けて配達する活動をしておりました。

そして、山本さんからの支援物資も必要な方に追加されました。

また、NALC 宮城の代表の車に山本さんが持ってきてくれたガソリンを給油していただき、「送迎ができる」と感謝しておりました。

そして……山本さんとご友人、代表と、私の4人で気になっていた「ささえ愛山元」に行ってきました。状況は、写真のとおりです。母屋はかろうじて建物が残っていましたが、ショートステイしている家や事務所



所は跡形もなくなっていました。「ささえ愛山元」の理事長がコツコツと積み上げてきたものが一瞬で壊されて……言葉になりません。



また、移動ネットみやぎの理事をしていただいている方の消息を山元町

役場で調べてきましたが、依然として行方不明となつたままです。心配です。

【from北茨城】

（ウィラブ北茨城／高松 志津夫）

●2011年3月16日 7:26

震災6日目。不便な中にもどうにか生活リズムを取り戻しつつありますが、市中の一部地域では電気が通らず、水道も出ない状況が続いています。

どこでも同様でしょうが、GSには長蛇の列。また昨夜の雨では屋根が壊れた家屋で雨漏りが頻出しています。

地震、津波、放射能と未曾有の災難続きで、被災者の皆様たちの心が折れてしまわないか……。

そして本会は、期せずして「宅老所」になっています。このような状況でも、県の介護保険室の担当官などはスぺ



ースがどうの、消防法がどうのなどと杓子定規なことを言うのでしょうか。本会のような小規模事業所では、食料や生活必需品（トイレトーパーなど）は何とか間に合いますが、市内の大きな施設では、職員や利用者家族から米などを実費で購入し提供し



ているようです。100人、150人の入所者の生活を守ることは、理屈や道理を越えた職員の献身的な犠牲の上に成り立っているのでしょうか。救援物資のほとんどは市が設置した16箇所の避難所のみで配給されているようですが、本会や他の介護施設などには配られていません。

「あと1日、あと1週間たてば……」。生きていられているだけでも幸いと思います。同時に、悲惨な状況にある宮城、山形、福島の方々に頑張ると祈ります。

●2011年3月16日 17:13

北茨城市全域はいまだにガソリン、水がありません。また、買い置きの食料も6日を過ぎようとして枯渇してきています。宮城・福島・山形への支援が最優先であることはもちろんですが、本市の災害難民にも少々ご支援くださればありがたいです。支援物資などは本会宛に送っていただければ、責任を持って分配したいと考えています。よろしく願いいたします。

*

先ほど、全国移動ネット理事の山本さんがガソリン・灯油・食料などを持って、本会に来てくれました！本来、福島県いわき市に半分持って行く予定だったのですが、電話したところ500リットル入手できたのでそちらで使ってくれとのこと。私の自家用車にまで補

給されたことで、市役所災害対策本部への足が容易になりました。横山様はじめ関係者の皆様方、本当にありがとうございました。

●2011年3月20日 22:56

感謝！ 感謝！ 感謝！ 今日、市内の介護施設と避難所に救援物資を届けたり、受け取りに来てもらったりの一日でした。

まずは、現在本会に届けられた支援物資のリスト作成と、現在必要としている物資の仕分け作業を全員で行い、午後8時までに介護施設への配給は終わりました。明日は市内被災の方々や、福島県から避難してきた方々の避難所に、今一番必要な温かい物（食事、飲み物、毛布など）を届けます。

こういう状況はイベントやお祭りではないので、長期間にわたる支援が必要です。一気に支援物資を送り届けていただくのではなく、身勝手なお願いですが、定期的な支援物資の補給をお願いしたいと思います。

●2011年3月25日 20:02

地鳴りを伴った余震が、いまだに続いています。地震、津波、放射能、風評被害、おまけに今年の花粉は異常なほどで、車のボンネットはまっ黄色。

今日は、午前中は各避難所の状況把握（人員、男女比率、年齢構成、ニーズ調査）を、本会ボランティアメンバー5名で調査してきました。市の災害対策本部責任者の「充分な対応を行っており不自由なことはないはず」との回答に疑問を抱き、個別のニーズを聞き取ってきましたが、食事は冷えたおにぎり（おかずなし）、風呂は市の直営温泉に1回だけ連れて行ってもらったが、シャンプー、リンスがない。着の身着のまま避難してきたにもかかわらず、下着、靴下の替えはない…等々涙ながらに訴えられました。そしてそのような状況に対し、本会のストックヤードに届いた支援物資の中から、リクエストの物資を仕分けし、各避難所に届けてきました。

「困ったときはお互い様」の精神は、この日本にはもう存在しないのでしょうか？ 今は、全国の皆様方のご支援の信託を受けて、精一杯駆け回って参ります。

東日本大震災 支援募金のお願い

今回の被害に対する支援活動を行っています。支援物資購入、出動団体やボランティアの経費、燃料代その他に大切にに使わせていただき



ますので、ご協力をお願いいたします。（募金額は、全額を理事および会員または全国移動ネットの呼びかけに応じて災害支援に当たるボランティアさんの活動資金に充てます）

★お振込み先★

以下のいずれかに、ご送金くださいますようお願いいたします。

郵便振替 加入者名：NPO法人全国移動ネット災害支援の会

口座番号：00190-1-623459

銀行口座 銀行名：みずほ銀行 支店名 千歳船橋支店（番号 154）

預金種目：普通預金 口座番号 2111719

口座名義：全国移動ネット災害支援の会

※お振込み手数料はお振込み人の負担となります。

※募金に関する領収書の発行はいたしません。控えとしてお手元に残る振込受領書をもって領収書に代えさせていただきますので、ご了承ください。

編集後記

地震発生の数日後、岡山の理事は東京で入手困難なガソリンの携行缶や物資を購入して東京の理事宛に発送→東京の理事は、それらを車に積み被災地域の理事にお届け→被災地域の理事は、そのガソリンで会員団体や被災者へ物資をお届け。公的な機関経由では避難所にしか届かない物資を、直接渡せたのは全国組織ならではと思う。

発生後3日たっても音信不通だった宮城の理事から4日目に電気が回復したと携帯メールが届いた。液状化現象で断水し、生活がままならない千葉の理事とも携帯メール。地震当日は半日以上通話不能だったが、やはり携帯電話の恩恵は絶大だ。

でも、外出・移動が困難な人は、全国組織に直接加盟していないし携帯メールで救援を求めることもできない。大勢の移動制約者、災害弱者がいるのに、どこで誰が困っているのか、把握するルートや受け入れ態勢を作ってこなかった。一方で現場に行けず気をもんでいる仲間もいる。移動サービスの間接支援組織だからこそできることは何だろう、走りながら考えていきたい。（み）